

誠、篤、敏、慧、輝く光、百年の名門校、エリート教育
台北市市立中山女子高級中学校

台北市市立中山女子高級中学校は1897年設立し、八回の名前変更、四回の場所移行、三世を経て、歴任の校長先生のリーダーシップにより、博大優雅及び温かみの学校雰囲気を作って、数えきれないエリートを教育してきました。

「誠、篤、敏、知恵」というモットー、「尊敬、誠実、責任、感謝、規律」という五項目の品格及び「組織と問題解決、人民関心と公民素養、分析思考と研究革新、人間交流とチームワーク、国際化と多様化への尊敬、口頭表現とグラフィックコミュニケーション」の六大中心素養を持って、積極的に国際視野が持てる未来のリーダーを育てます。

- ・1896年、日本政府より台北士林芝山岩で学校を創立、台湾の新式教育を開始する。
- ・1897年、士林で創立した学校は、「台湾総督府国語学校第一附属女子分教場」という名です。全台湾の初めての公立女子中学校になり、台湾での女子教育、師質養成、エリート育てのベスト場である。
- ・1898年、「台湾総督府国（日）語学校第三附属学校」という名前に変更して、「士林女子中学校」とも呼ばれます。創立はじめの教育内容は技術、実用的な類別を中心に、日本語、アートフラワー、織りと裁縫を含めます。台湾の女子教育を始める。
- ・1902年、「台湾総督府国（日）語学校第二附属学校」に名前を変更した。当時、日本政府から台湾籍の女性に提供する唯一の公立「高等教育」です。1908年、宗教文化集まるマンガ（艋舺）に移り、現在の老松小学校の建物を借りて教室として授業をした。
- ・1910年、「台湾総督府国（日）語学校附属女学校」に名前を変更した。1915年、西門町三丁目11番地の後菜園に移って、完全な独立した学舎を建てました。
- ・1919年、「台湾公立台北女子高級普通学校」に名前を変更した。
- ・1922年、内江街に移って、「台北州立台北第三高等女学校」に名前を変更した。「三高女」という略語も呼ばれます。1936年、現在の住所に移って、現代化の強化コンクリートの学舎、逸仙樓、敏求樓、図書館などを建てました。
- ・1945年、「台湾省立台北第二女子中学校」に名前を変更した。
- ・1967年、台北市は直轄市になったため、「台北市立中山女子高級中学校」に名前を変更した。

学校業務の経営方向は、「国の重要な人材を育成する使命、百年の名門校の歴史に位置づけ」。学校の将来は、進歩はもちろん、優秀を超えて、革新も継承していくこと。中山の学生と、「中山の情を継承、優秀な行為を実行」とい

う校務経営目標を実践し、「優れた中山、永遠的な進歩、国際的な視野、未来のリーダー」というビジョンに邁進すること。今は66クラスを設置していて、数学の才能クラス、人文科学と社会的の才能クラス、学生は2300くらい人にいます。キャンパスの風景も完全に計画されて、日本式の伝統建築と西ヨーロッパの古典外観を融合させます。伝統も革新も持てる楽旗隊（マーチングバンド+旗チーム）も60年を超えて、数えきれない賞をもらったとともに、多くの学生たちの思いでになります。

120年以上の継承と三世紀の光栄を持って、歴任の校長と先生たちの務めた結果、数多くのエリートを育てきました。中華民国の現任大統領の蔡英文大統領、アメリカカリフォルニアモンレーパーク市長の陳李琬若市長、台湾初めて女性の外科医者、国内初ガン研究の中央研究院院士の彭汪嘉康様、台湾輸血医学の母の林媽利教授様、ドイツフライブルク大学の博士、台湾今まで一番若い女性裁判官の許玉秀様、および国際知名な作家の席慕蓉様、林文月様、瓊瑤様、朱天文様等など優れた方が世の中に出ています。